

# 家畜衛生だより

令和6年11月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

## 鳥インフルエンザの猛威に立ち向かうために！！

今シーズンにおけるこれまでの鳥インフルエンザの発生は、過去最多の発生となった令和4年シーズンに匹敵するペースで確認されており、国内で猛威を振るっています。

今シーズンの発生傾向は、周辺で死亡野鳥でのHPAIが確認されていない地域や、過去に発生があった家きん農場においても再び発生する事例が報告されています。

### 国内における家きん農場での発生状況

1道8県 11事例 約121.3万羽が殺処分

### 国内における野鳥での発生状況

1道11県 39件 (いずれも11月25日現在)

## 農場にウイルスを持ち込まない、持ち込ませない対策の徹底が重要

飼養衛生管理基準に準じ、自農場では衛生対策が遵守できているのか、繰り返しの点検と、不備な箇所を確認した場合は、速やかに改善するようお願いします。

これまでの発生で、疫学調査チームの調査において飼養衛生管理基準の遵守状況に不備が認められた農場では、後日支払われる手当金及び特別手当金の支給額が減額された事例が報告されています。(5%から23.5%の減額支給)

# <養鶏農家の皆様に4つのお願い>

## 1. 「危機感」を共有しましょう

農場で作業するすべての人が危機感を共有し、対策に取り組むことが重要です。

自農場では、「発生しないだろう」と楽観視するのではなく、「発生するかもしれない」という危機感を持つことが大切です。

## 2. 現場の「隙間（隙）」を埋めましょう

ウイルスは、人、モノ、車、野鳥、小動物、塵埃等により気づかぬ間に農場内（鶏舎内）に侵入してきます。

野鳥や小動物が鶏舎内に侵入しないよう、見逃しがちな隙間（壁やネット、金網の破損部、除糞ベルトや集卵コンベヤーの開口部等）を徹底的にふさぎましょう。

※イタチは3cm前後の隙間があれば通り抜けることができます。

→ 2cm×2cmの目の防鳥ネットや金網の設置が必要です。

※換気扇の吸気口や排気口、鶏舎屋根に設置されているモニター部は盲点です。ウイルスが含まれている可能性のある塵埃や粉じんが鶏舎内に吸い込まれないようフィルターを設置する等の対策を取りましょう。

## 3. 「再点検」を実施しましょう

繰り返し農場内や鶏舎の点検を複数人で実施しましょう。

## 4. 周辺農場へのまん延を防止しましょう

万が一、疑わしい事例を発見した場合は、早急に管轄の家畜保健衛生所に通報し、家畜防疫員の指示に従うようにしましょう。

## ＜農場にウイルスを持ち込ませない対策のポイント＞

- ①農場付近、農場内にある池の水は抜く、もしくは、池の上空にテグスを張る
- ②飼料タンクの周辺、鶏舎内にこぼれている餌を片付ける
- ③たい肥舎への廃棄卵や死亡鶏、餌等の投げ込みをやめる
  - ②、③いずれも野鳥や小型野生動物を誘引する原因となります。
- ④好天が続き乾燥している状況下での、換気扇からの吸気に注意する
  - ウイルスの含まれている塵埃、粉じんを鶏舎内に吸い込む可能性あり
  - 特に乾燥した日は、塵埃や粉塵が舞い上がらないよう、消毒薬（液体）を散布するようにしましょう。
- ⑤屋根に設置されているモニター孔付近には、野鳥（スズメ、カラス等）の糞が落ちています。乾燥した糞は、モニター孔より容易に鶏舎内に吸い込まれます。
  - ⇒ 屋根の上空にテグスを張り、野鳥を屋根に止まらせないようにする、モニター部にフィルターを設置する等の対策を取りましょう。
- ⑥農場内、鶏舎周り、飼料庫、たい肥舎の整理整頓
  - 特に、鶏舎周りの除草・木の伐採・整理整頓・掃除を徹底し、野鳥や小動物の隠れる場所をなくしましょう。
- ⑦消石灰の散布
  - $0.5\text{Kg}/\text{m}^2$ を目安とし、地面が見えないようまんべんなく散布しましょう。
  - 雨が降って流れてしまったり、散布した消石灰が固まっていると消毒効果が激減します。状況を確認し、こまめに散布するようにしましょう。
- ⑧不要不急の工事の中止もしくは延期
  - 今シーズンの発生農場における疫学調査で、発生の数日前に、農場関係者以外の人やモノ、車両の侵入があった事例が報告されています。
  - 可能な限りシーズン中は、関係者以外の人や車の農場への立ち入りを制限しましょう。

※個々の農場における飼養衛生管理レベルをもう一段上げる対策をお願いします。

# 予防対策の重要ポイント

## 【衛生管理区域】



### ① 人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ことでの専用の靴の使用
- ・上記措置の記録

### ② 野生動物対策

- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
- ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・上記措置の定期点検

### 周辺に水辺のある農場は

#### ①、②の予防対策を徹底

リスクを減らす取組(季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張るなど)が効果的